【異常時は「たかやま」(4つの行動)を行おう!】

「た」:たち止まる

(一度、作業を中断しよう)

「か」:かく離する

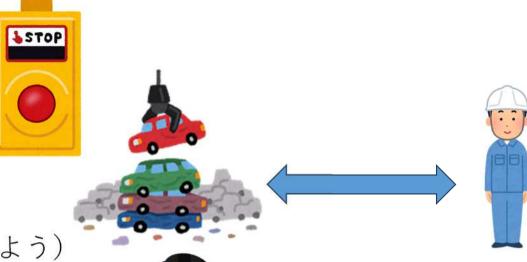
(危険源・有害源から隔離しよう)

「や」:やく職者・責任者を呼ぶ

(異常時の対応者・責任者を呼ぼう)

「ま」: **まつ**(責任者が来るまで待とう)

異常時の対応が終わったら、作業を再開しましょう。





高山労働基準監督署

【異常時・工程変更時の基本動作は「止める・呼ぶ・待つ」】

高山労働基準監督署管内における令和6年の労働災害発生件数は<u>177件</u>でした。 そのうち、異常対応時に発生したと思われるものは<u>24件(13.6%)</u>でした。

異常対応時に発生した労働災害の多くは、会社で決められたルールを守らずに 作業したことや、そもそもルール等が定まっていなかったことが原因です。

令和6年には、機械設備の運転を止めずに、一人で作業した結果、右手首を切断する労働災害も発生していることから、異常時は一人のみで対応しようとはせず、「止める・呼ぶ・待つ」の3動作をしっかり行うことが非常に重要です。

<u>異常時の対応についてルールが定まっていない場合は対応者等を事前に決めて</u> おきましょう。

高山労働基準監督署